

# 自然保育の現状と展望

～目指すべき姿～

ひろしま自然保育推進協議会 副会長 石井千穂  
(森のようちえん まめとっこ 代表)



- 森のようちえん

自然体験活動を基軸にした子育て・保育、  
乳児・幼少期教育の総称

(NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟による定義)

- 自然保育

行政による認証制度がきっかけ (2015)

自然環境や地域資源を活用した体験活動を  
重視する保育、幼児教育、子育て支援等

(日本自然保育学会による定義)





## 身近な自然環境の中で子どもを育てること

子どもが主体的・自発的・直接的に  
自然にかかわり、  
子ども主体の遊びを大人が共感的に見守る





# 森のようちえん まめとっこ

2011年4月開園

広島市安佐南区大塚・伴地区

(~2020年度 祇園・山本地区)



# 目的

- 01 「子どもの育ちを待つ・見守る子育て」を大切にした  
子育て・親育ちの場、及び、仲間づくりの場を共有する
- 02 やさしく厳しい自然の中で、子どもも大人もその人らしく  
いのちを輝かせて育つ
- 03 広島森での活動を通して、ふるさとと自然を愛し  
大切にすることを育む

# 理念

- 01 すべての人が持つ、よりよく育とうとする力を信じて待つ
- 02 仲間・自然・いのちとの関わりを通して、  
しなやかに強く育つ
- 03 大人はあたたかい空気で子どもの育ちを見守り、  
それを**手助け**する



# まめとっこの活動



## ようちえんそらまめ

年少～年長  
月～木曜日**9:30～14:30**  
時間外預かり～**16:00**



## 親子組 さやまめ

おおむね**1歳～3歳**  
水曜日**10:30～13:15**  
親子参加



## 単発イベント

**0歳～年長**  
森・公園・室内で森のようち  
えん的子育てに触れられる場



## 小学生クラブ

ようちえん卒園児  
月に**1回**、仲間とともに森へ



さまざまなフィールドで  
心身を思いっきり動かす





多様な自然に抱かれて  
一人ひとりがその人のペースで





一瞬一瞬を糧にして育つ





# 大事にしていること

01

## 失敗体験

(不便・不快・失敗を先回りしてとりあげない)

02

## 目に見えないところでの成長

(結果ではなく経過、プロセスを大切にする)

03

## 子ども自身が考え判断し行動し、結果に触れること

(管理的な関わり・働きかけは極力減らす、安全面でも子どもが考えるように)



# 保育活動いろいろ





# 保育活動いろいろ



蜜蝋キャンドルづくり



干し柿づくり



畑仕事



田植え



# 保育活動 いろいろ



育ちのきっかけ  
結果にこだわらない





# 年長の活動



お泊まり保育



年長登山



ふるまレデー



卒園制作（縫い物）



卒園式



卒園式



Hくん



自分のタイミングで



Yちゃん





CKん

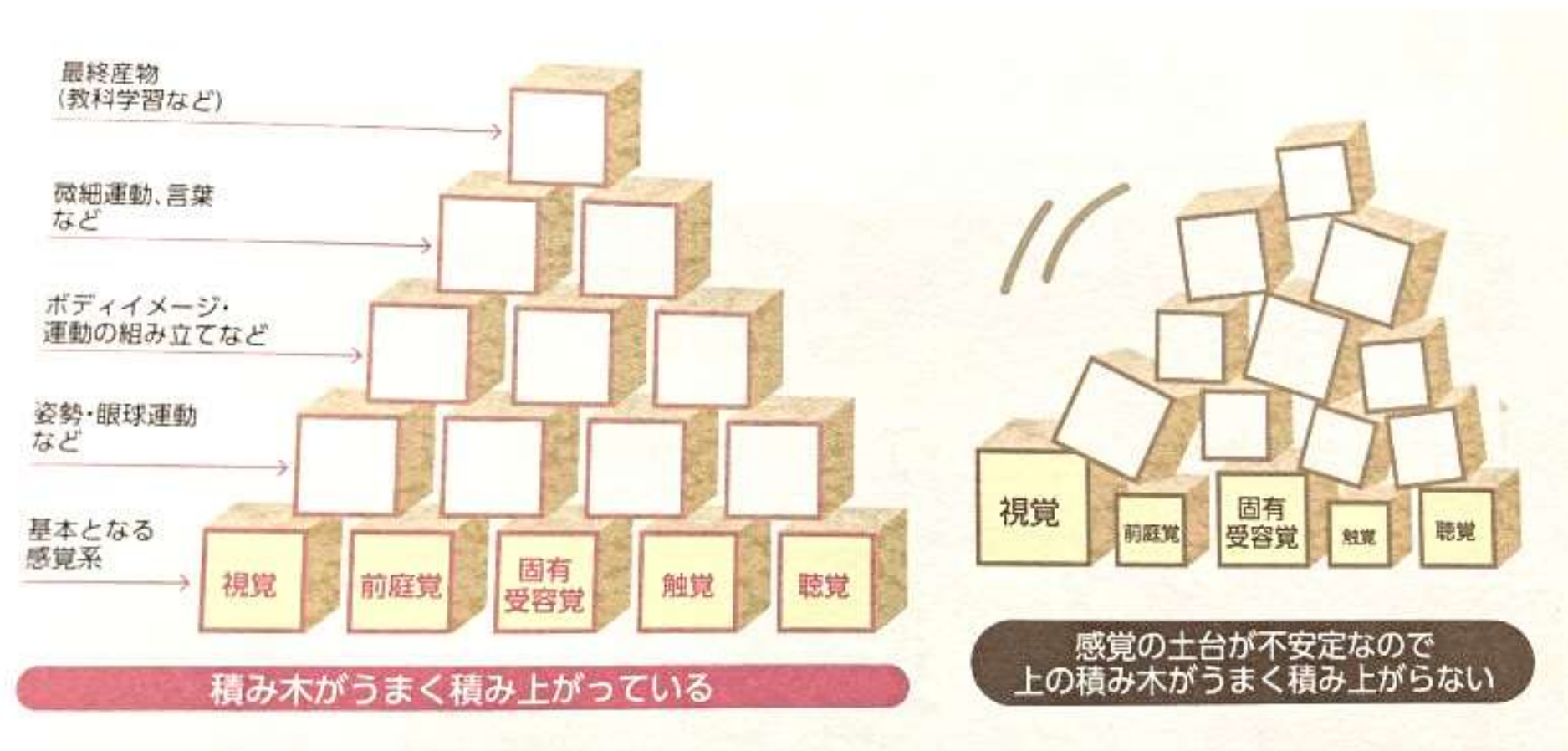




# 自然 × 幼児期のよさ

## 01 感覚の発達・統合、運動能力

皮膚・前庭感覚・筋肉や関節、五感への感覚刺激が豊富



引用：加藤寿宏監修（2019）「子ども理解からはじめる感覚統合遊び」，クリエイツかもがわ



## 02 認知機能の発達

- 観察眼
- 問題解決
- 記憶力

## 03 心の健康な発達

- リラックス、安心感
- 情緒が安定



## 04 社会性の向上

- 協調性、コミュニケーションスキル
- 共感力

## 05 自立、多様性の尊重、協働、視野の柔軟さ… これからの社会を生き抜くための価値観がしみこむ

- 自分を環境に合わせる柔軟さ
- 自分、周りの人のありのままを理解し受けとめられる



# 大人への効果

01

## 孤育ての解消

- 子育てを助け合いわかち合える
- 子どもがかわいく思えるようになる

02

## 自分と子どもの課題が分離できる

- 対等な人間同士としてお互いの人生に伴走する関係になれる
- 他者とも互いを尊重し合える態度が育つ（多様性の尊重）

03

## 子どもを育ててくれた森や地域に目が向き始める

- 地域の活動、**PTA**活動などにも積極的に関与



# 社会への効果

01 工夫する力、問題解決する力のある人が増える

02 いのちにやさしい選択をする人が増える

03 多様性を尊重する人が増える



# 地域への効果

01 親子の活力が増す

02 空き家、遊休農地、里山の活用

03 移住、地域の魅力発信



自然保育の未来に向けて

# 大きな課題

- 親世代、若い保育者の自然体験の少なさ  
「自然の中で育てるのが大事」頭での知識
- ルールや人と同じことの価値が高い  
「自分は我慢して頑張っているのに…」 自由を許せない
- 認可を受けていない園は自主財源なので死活問題





自然保育の未来に向けて

# 実践者 × 行政 得意分野を活かして 普及・充実

---

子どもの健やかな成長、  
保護者のサポートのために





自然保育の未来に向けて

実践者

# 親子で気軽に 参加できるイベント

参加のハードルを下げる

「子どもも自分もありのままで大丈夫」

子育ての悩み相談

まめとっこの実例：青空ひろば、おさんぽ会など





自然保育の未来に向けて

実践者

# 保育者研修

---

「子ども主体」の理解

自然遊びの引き出しを増やす

他園との情報交換

まめとっこの実例：ロールプレイ研修、保育見学





自然保育の未来に向けて

行政  
広報・啓蒙

行政の信頼性、広く伝えることができる

まめとっこの事例：

市の子育て支援冊子への掲載、イベントへの後援、  
ひろしま自然保育認証





自然保育の未来に向けて

行政

# 認証・認可 & 経済的支援

まめとっこの実例：

ひろしま自然保育認証、認可外保育施設として届出

補助金、情報、アドバイスを得ることができる





# まめとっこのあゆみ

2011

まめとっこ開園

自主保育

2012

ようちえん・親子組

共同保育

2013

ようちえん・親子組

現在と同じ日数に

2017

ひろしま自然保育認証

県の委託を受け検討委員も務める

2018

幼保無償化制度

2021

認可外保育施設

無償化対象

大塚に移転



# 自然保育の未来に向けて

実践者

## 横のつながり

---

- ひろしま自然保育推進協議会（**2023**～）  
認証制度検討委員・自然体験活動アドバイザーで構成  
自然保育の普及・充実に向けて行政に提案、協力
- 実践者のネットワークづくり





自然保育の未来に向けて

# 実践者 × 行政 得意分野を活かして 普及・充実

---

子どもの健やかな成長、  
保護者のサポートのために

